アネモネ
Anemone coronaria
（キンポウゲ科）

花弁のように見えるのはがく片で，本当の花弁は退化．中央に雌しべを囲んでたくさんの雄しべがある．1茎1花で，茎を取り囲む葉(止め葉)が花首に1枚だけつく．種子で繁殖する大輪一重のモナリザ系と，球根（塊茎）のデカン（ド・カン）系があるが，切り花にはモナリザ系が多い．
高温に弱く，11月から4月までの低温期に流通する．花は昼に開き，夜には閉じることを数日くりかえし，やがて開きっぱなしになり，日持ちを終了する．生け花中に花首が徒長する．

1）品質評価基準

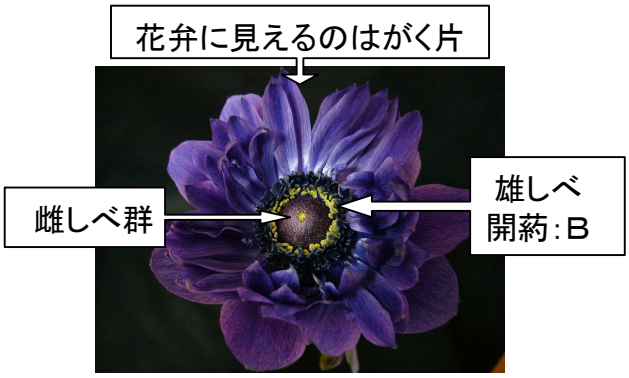
項　目	判　定　基　準	備　考
花の老化	A：花被片花弁（がく片）の展開前（つぼみ）か展開を始める B：花被片（がく片）が展開し，雄しべから花粉がではじめる C：花被片（がく片）が反転し，ほとんどの雄しべが開葯する D：花被片（がく片）が裂け，著しく反転し，落下することも	
ベントネック：花茎の徒長，曲がり	A，B：花首の曲がりがない C：花が横を向く D：花が90°以上横を向く（ベントネック），または花茎が折れる	
その他		

2）留意点

・水に浸かった茎が腐りやすいので後処理剤を使用する．
・後処理剤を使用すると花が大きく咲く．
・葉は取りさられ，止め葉だけのことが多い．

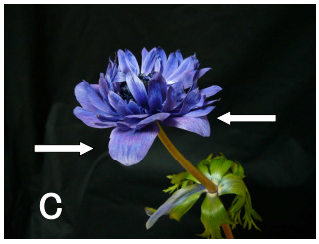
3）開花

4）チェック事項

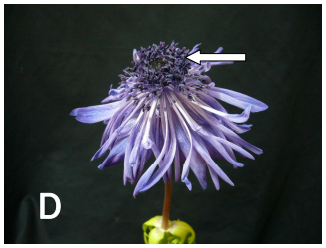


花の老化

花弁が水平に展開



花弁が外向きに反転



花弁が裂け，著しく反転．雄しべが萎凋または落下

花首の曲がり